

殿

仕 様 書

仕様書番号

FJS-F-2-技-00-071(9)

品 名

EM-S-7C-FB

衛星放送テレビジョン受信用発泡ポリエチレン
絶縁耐燃性ポリエチレンシース同軸ケーブル



富士電線工業株式会社

平成12年 3月24日 制定	仕 様 書 EM-S-7C-FB	起案作成	技術部
令和 4年 2月22日 改定		発行責任者	技術部長

1. 適用範囲

この仕様書は、富士電線工業株式会社が製造する衛星放送テレビジョン受信用発泡ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシース同軸ケーブルの次のサイズについて規定する。

EM-S-7C-FB 灰

なお、本製品は日本電線工業会規格（JCS 5423 衛星放送テレビジョン受信用耐燃性ポリエチレンシース同軸ケーブル）に適合する。

一部、特性規格については JIS C 3502 に準拠する

2. 構造

付表1による。

3. 特性

付表2による。

4. 試験方法

4.1 外観

JIS C 3005(ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法)の 4. 1による。

4.2 構造

JIS C 3005 の 4. 3による。

4.3 内部導体抵抗

JIS C 3005 の 4. 4による。

4.4 耐電圧

内部導体と外部導体間について行い、JIS C 3005 の 4. 6 b)による。

4.5 絶縁抵抗

内部導体と外部導体間について測定するものとし、JIS C 3005 の 4. 7. 1による。

4.6 特性インピーダンス

周波数10MHzで、同調法 又は その他適当な方法によって行う。

4.7 減衰量

直接法 又は その他適当な方法によって行う。

4.8 シースの引張り

JIS C 3005 の 4. 16による。

4.9 シースの加熱

JIS C 3005 の 4. 17による。

加熱温度 及び 加熱時間は、JIS C 3005 の 4. 17. 2の表5のAによる。

4.10 シースの耐寒

JIS C 3005 の 4. 22による。

冷却温度は、 $-15 \pm 0.5^{\circ}\text{C}$ とする。

4.11 難燃性

JIS C 3005 の 4. 26. 2 b) 傾斜試験 による。

4.12 発煙濃度

絶縁体 及び シースについて行い、JIS C 3612 附属書 A による。

4.13 燃焼時発生ガスの酸性度

絶縁体 及び シースについて行い、JIS C 3666-2による。

4.14 屈曲

完成品から適当な長さの試料を取り、 $18^{\circ}\text{C} \sim 28^{\circ}\text{C}$ の室温でケーブル外径の20倍の外径を有するマンドレルに沿って 180° 曲げてこれを原位置にもどし、次に反対方向に 180° 曲げてこれを原位置にもどす。この操作を10回繰り返し替えた後、解体して内部を調べる。

4.15 内部導体と絶縁体の密着

完成品から1m以下の試料をとり、その絶縁体を固定し、 $18^{\circ}\text{C} \sim 28^{\circ}\text{C}$ の室温で内部導体を引張ることによって行う。

引張速度は $100\text{mm}/\text{min}$ または $200\text{m}/\text{min}$ とする。測定値は1mに比例換算する。

5. 包装・荷姿

EM-S-7C-FBは、1条ずつタバ巻又はドラム巻とし、運搬中損傷のない様に適当な荷造りを施す。

6. 環境負荷物質

EM-S-7C-FBは、カドミウム・鉛・六価クロム・水銀及びその化合物を含有していません。

EM-S-7C-FB

付表1 構造

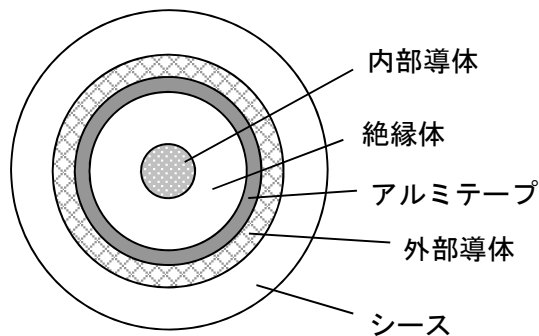
項 目		規 格 値	
内部導体 (軟銅単線)	導 体 径 (mm)	1.5 ± 0.05	
絶縁体 (発泡ポリエチレン)	厚 さ (mm)	2.90	
	外 径 (mm)	7.3 ± 0.3	
外部導体	両面アルミ箔 貼付けプラス チックテープ	全体の厚さ 約(mm)	0.05
		アルミ箔片面の厚さ 約(mm)	0.01
	編 組 (すずめつき 軟 銅 線)	素 線 径 (mm)	0.18
		持数 × 打数	5 × 24 又は 7 × 16
		ピ ッ チ (mm)	65 以下
シース (耐燃性ポリエチレン)	色 相 (mm)	灰色	
	厚 さ (mm)	0.95	
	仕上外径 (mm)	10.2 ± 0.5	
概 算 質 量 (kg/km)		100	

表面表示

EM-S-7C-FB

FUJIE.W.C

断面図



EM-S-7C-FB

付表2 特性

項目	規格値		試験方法
外観	キズ、色ムラ等その他異常のないこと		4. 1
構造	付表1による		4. 2
内部導体抵抗 (20°C)	10. 4 Ω/km 以下		4. 3
耐電圧	AC 1000Vに1分間耐えること		4. 4
絶縁抵抗 (20°C)	1000 MΩkm 以上		4. 5
特性インピーダンス	75 ± 3 Ω		4. 6
標準減衰量 (20°C)	90 MHz	41.7 dB/km (最大: 48.0 dB/km 以下)	4. 7
	220 MHz	68.0 dB/km (最大: 78.2 dB/km 以下)	
	470 MHz	105 dB/km (最大: 121 dB/km 以下)	
	710 MHz	133 dB/km (最大: 153 dB/km 以下)	
	1489 MHz	210 dB/km (最大: 242 dB/km 以下)	
	2071 MHz	259 dB/km (最大: 298 dB/km 以下)	
	2681 MHz	306 dB/km (最大: 352 dB/km 以下)	
	3224 MHz	346 dB/km (最大: 398 dB/km 以下)	
シースの引張	引張強さ	10 MPa 以上	4. 8
	伸び	350% 以上	
シースの加熱	引張強さ	加熱前の値の80% 以上	4. 9
	伸び	加熱前の値の65% 以上	
シースの耐寒	試験片が破壊しないこと		4. 10
難燃性	60秒以内に自然に消えること		4. 11
発煙濃度	6回の試験の結果、平均が150以下でなければならない。ただし、始めの3回の値がいずれも150以下である場合は、3回で合格とする。		4. 12
燃焼時発生ガス	酸性度	pH4.3 以上	4. 13
	導電率	10 μS/mm 以下	
屈曲	シース及び外部導体上に、亀裂、破壊及び甚だしい変形など異常がないこと		4. 14
内部導体と絶縁体の密着	内部導体が、絶縁体から脱するまでの最大張力は100N/m以上であること		4. 15